

四日市市立水沢小学校

学校だより



令和6年1月25日 第51号

租税教室がありました。(6年生)

1月17日(水)2限目に、視聴覚室で租税教室を行いました。「税金ってなに？」というテーマで、税務署職員の方に、クイズを交えながら話をいただきました。「救急車で運ばれた場合は、利用料金を払わなければならない。○か×か？」(答えは×)等、さまざまな問題を出題していただき、楽しく授業を進めていただきました。小中学校の義務教育9年間でかかる教育費への保護者負担額、さまざまな税金の種類について、働き手が少なくなり将来の税金についてはどうなるのか等、パワーポイントを使って詳しく教えていただきました。

授業の最後には、1億円のお札の重さがどんなものなのか、実際にジェラルミンケースの中に入っている見本の札束を一人ひとりが持って、実際の重さを体感しました。「これが本物のお札だったらいいのにー」とか言いながら、紙幣の見本を担いでいる子もいました。あまりにもジェラルミンケースが重かったので、税務署職員の方が帰られるときに1階まで親切に運んでくれている子がいました。

本の読み聞かせが行われています。

1月17日(水)、朝読書の時間を使って、読書活動支援員の皆様(現在6名)に全学年で本の読み聞かせをしていただきました。3学期に入ってから初めての読み聞かせで、みんな真剣に話を聴いていました。文部科学省は、読書の意義について、『読書することは、「考える力」、「感じる力」、「表す力」等を育てるとともに、豊かな情操を育み、すべての活動の基盤となる「価値・教養・感性等」を、生涯を通じて涵養(かんよう)していく上でも、極めて重要である。また、特に、変化の激しい現代社会の中、自らの責任で主体的に判断を行いながら自立して生きていくためには、必要な情報を収集し、取捨選択する能力を、誰もが身につけていかなければならない。すなわち、これからの時代において、読み・調べることの意義は、増すことはあっても決して減ることはない』と述べています。

読書をすることで、人は実際には体験できないさまざまな豊かな経験をすることができます。さらに、想像力を使い、本の中に入り込み、人として生きていく上で重要なことについて学んだり、考えたりすることで人生観が高まり、個々の人格が形成されていくのだと考えます。

読み聞かせて、みんなで同じ話を聴いて、後で感想を述べ合うのも、なかまの違った感性を感じることでできて良かったりします。次回は、2月14日(水)に本の読み聞かせを行っていただきます。どんな本を読んでいたのか今から楽しみです。読書活動指導員のメンバーについても随時募集していますので、本校まで連絡をいただくと幸いです。よろしくお願いいたします。

クラブ見学をしました。(3年生)

1月18日(木)の6限目に、3年生は来年度に向けてクラブ見学をしました。体育館では、四日市市スポーツ推進員の方に、SSピンポンやボッチャのことを教えていただき、来年度のクラブ選択に向けて参考になったようでした。パソコンクラブでは、上級生がプログラムを作っている周りに集まって、何やら楽しそうに話をしている姿がありました。



(文責 北住 昌文)